

# 柳津小学校だより

# 鳴神山



2019, 10, 7 No. 18

柳津町立柳津小学校

発行者 校長 星 潔



## 遠足に行ってきました！！

10月4日（金）に1～4年生といっしょに遠足に行ってきました。今年度は「只見線学習列車」を利用して只見線で金山町まで移動しました。只見線は学校の目の前を走っていますが、なかなか列車を利用することがない子どもたちの表情は、笑顔であふれていました。柳津駅ではお見送りを受け、金山町ではお出迎えを受けました。金山町からはバスで2班に分かれて只見町に移動しました。「ブナと川のミュージアム」「電源開発（株）只見展示館」「田子倉発電所」をそれぞれ見学しました。特に田子倉発電所は、普段見ることができないところを見学でき、大変喜んでいました。なお詳しくはぜひお子様からお話を聞いてみてください。そして、4年生のみんなが下級生の面倒をしっかりと見てくれました。大変すばらしかったです。



< 教頭先生にいきます >



< 柳津駅出発だ >



< 5年生が見送ってくれたよ >



< 只見線の中で >



< 金山町で >



< 只見展示館 >



< ブナと川のミュージアム >



< お弁当タイム >



< 田子倉発電所 >

## 校外学習（6年）

10月4日（金）に6年生も只見線を利用して、会津若松市に校外学習に出かけました。会津図書館や県立博物館を見学し、社会科で歴史学習をしている子どもたちは、大変興味深く見学することができたようです。こちらも詳しくはお子様から話を聞いてみてください。なお保護者の皆様におかれましては、朝のお忙しい中、柳津駅までの送迎等のご協力、誠にありがとうございました。



## 版画学習（5、6年）

斎藤清美術館から講師の先生をお迎えして、5、6年生で版画の授業を行っています。まずは下絵づくりです。子どもたちは大変意欲的に取り組んでいます。これから5、6年生とも何回かご指導をお願いしています。どんな作品が完成するか楽しみです。



## 校長のひとりごと

陸上の世界選手権が行われていましたが、日本は男子競歩で50kmと20kmで見事に金メダルを獲得しました。男子50km競歩では、鈴木雄介選手が、競歩としては、五輪、世界選手権を合わせ、日本勢初の金メダルの快挙となりました。鈴木選手は、2015年の20キロ競歩で世界新記録をマークし、同年8月の世界選手権では金メダルの期待がかけられていましたが、けがの影響などで途中棄権となり、その後も疲労骨折が癒えず、翌年3月のリオデジャネイロ五輪代表最終選考会も欠場することになりました。この間、治療に通っても改善せず、落ち込んで新たな治療先を捜すことを繰り返していた鈴木選手。リオデジャネイロ五輪選考会に出場できず、一度気持ちが切れたそうです。リオデジャネイロ五輪のころは約半年間、実家に帰省し、陸上を辞めて、普通に働くべきじゃないかと思ったこともあるそうです。しかし、もう一度けがを治し、競技に復帰することを目指した鈴木選手。治療のおかげで2017年12月に練習再開の許可が出ました。「練習を始めると、だんだん痛みが出てこない状態になり、練習を継続できるようになった。競技をできる状況は、以前は当たり前だったが、一番幸せだと感じられるようになった」と鈴木選手は述べています。今回の金メダルで来年の東京オリンピックの代表に内定した鈴木選手。あきらめない心と当たり前を大切にしていける心。子どもたちにも大切にしていけるように声をかけていきたいものだなと感じました。